

学校運営協議会だより

令和5年7月26日発行

1学期学校経営・教育活動について評価

7月11日(火)14時10分から第2回の学校運営協議会を開催しました。

校長あいさつの後に20分程度、校内参観を行いました。5時間目の時間帯でしたが、委員の皆様には、生徒の普段通りの姿をご参観いただけたと思います。続く協議では、3年生の進路希望状況についての説明を行ったほか、主に「探究学習」と、タブレット端末を活用した教育活動について意見交換がなされました。

次回(第3回)は11月7日(火)に実施する予定です。

校内参観を実施しました

会の前半にて校内参観を行いました。話題となっていた「探究学習」をちょうど行っている時間帯でもあり、各委員は非常に興味をもって参観されました。「生徒が生き生きと活動している姿に安心した」などの感想が寄せられました。



【質疑応答・意見交換の概要】

Q 音楽発表会はどこで実施するのか。

A 喜入中学校の体育館で実施する。全校生徒が集い全演奏を聴くスタイルは3年ぶりである。観覧中はマスクを着用する、空気清浄機やサーキュレーターの活用などの感染症対策を取りながら実施する。

Q 国体が実施されるが、これに関する教育活動はあるのか。

A 体育大会で1、2年生が「国体ダンス KIBAIYANSE」を踊る。学校をあげて観戦に行くなどの活動は行わない。また、生徒会環境部が国体歓迎のための花鉢を育てたり、美術部が選手応援のためののぼり旗を作成したりしている。

Q 探究学習の授業を参観したが、生徒が生き生きとしていた。

A 正解が決まっていないこと、どんな考えでも何を言っても認められることが保障されているのが探究学習の特徴でもある。こんな教材は他にはない。突拍子もない新しい発想で堂々と生きていく生徒を育成する

ことが目的である。今年度は市からの助成で実施しているが、助成がない来年度以降もぜひ継続したいので、ご理解とご協力をお願いしたい。

Q 意見を言う、議論をする訓練はとても大切で有効なことだと思う。

A プチボラとは何か。

Q 「自分にできることを出来る範囲で」をコンセプトにしたボランティア活動である。毎月の土曜授業の放課後に20分程度開催している。

Q 不登校の生徒はどれくらいいるのか。

A 各学年にしているが、不登校生徒の割合は減少してきている。担任はもとより、校長も家庭訪問するなど全校的に解消を目指した取り組みを行っている。なお、「探究学習」も不登校解消・予防につながると考えている。

Q 一人一台のタブレット端末の完全配備で、教育活動に変化が出ているか。

A 授業では、いつでも気軽にタブレット端末を使用できるようになった。タブレット端末は「文房具である」とも言われる。普段から使える状態にしておきたい。テスト前に家庭でデジタルドリルを活用するなど、テスト勉強の姿にも変化が出ている。

Q やはり「紙のドリル」が良いのではないか。

A 紙とデジタルとではそれぞれにメリットとデメリットがある。どちらかに統一するなどは考えていない。時代の要請としても、紙とデジタルのそれぞれの特徴を十分に活用して、両方を使いこなせる生徒を育成することが求められている。

Q 学校からののお知らせも、デジタル版ですぐ届くようになった。特に、大雨時の下校に関する学校からの案内は非常にタイムリーで、保護者も助かるといった意見が出ている。